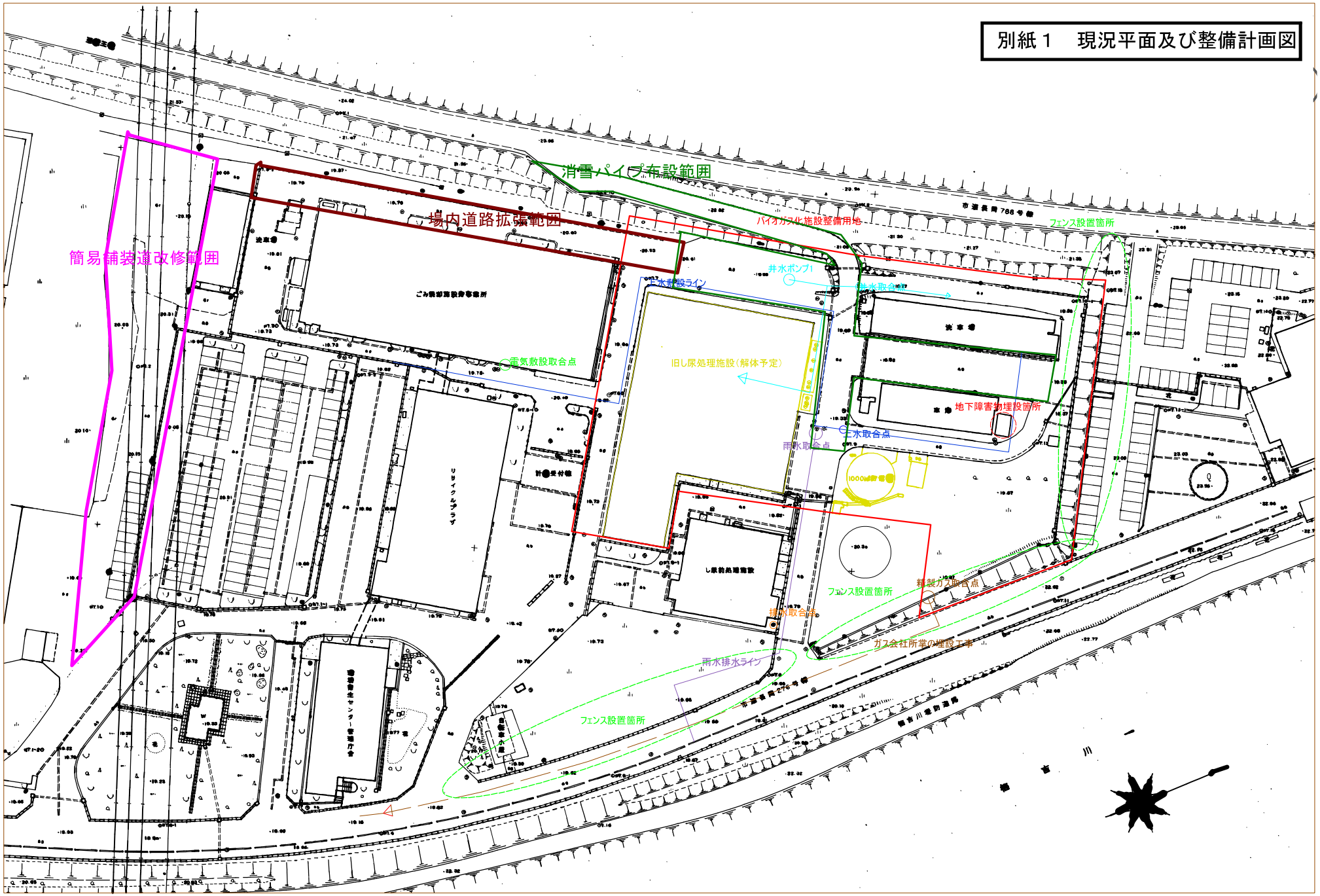
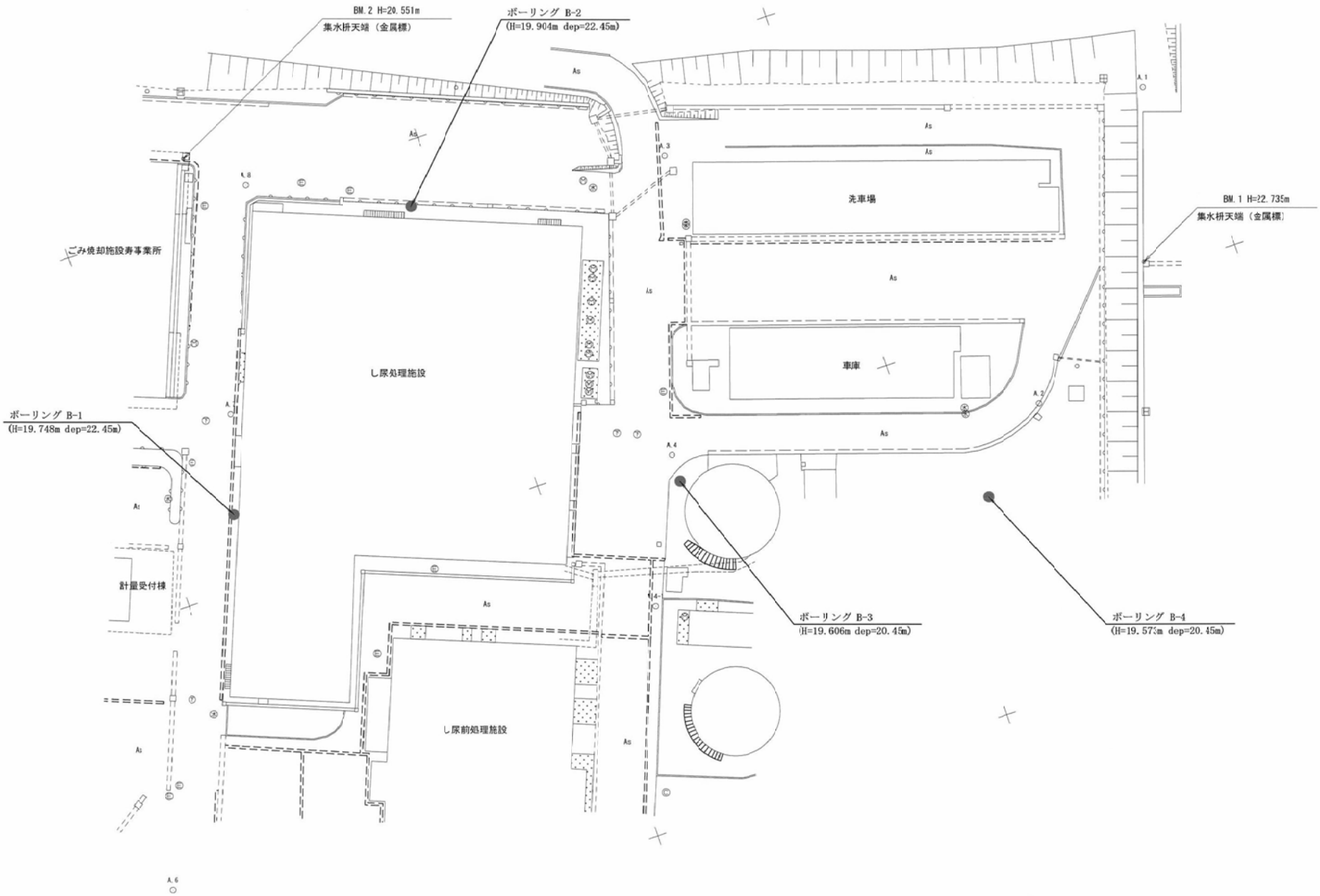
別紙１　現況平面及び整備計画図



別紙２　地質調査図



調査位置図 S:1/500

ボーリング柱状図

調　査　名　平成21年度環施委第14号生ごみバイオガス化施設建設用地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B－1	調査位置	長岡市寿3丁目地内			北緯	
発注機関	長岡市			調査期間	平成 21年 7月 17日 ～ 21年 7月 27日	東経	
調査業者名	株式会社 新研基礎コンサルタント 電話（025－286－7188）	主任技師	鈴木正喜	現場代理人	山本 毅	コア鑑定者	
						ボーリング責任者	阿部龍信
孔口標高	H= 19.748m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総掘進長	22.45m	使用機種	試錐機	KR－150HC	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
			エンジン	ヤンマーNFD13	ポンプ	V5－P	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					礫混じり土砂	暗黄灰	緩い		礫混じり土砂を主体とした盛土 所々に径10～100mm程度の礫、玉石を点在し不均質 1m付近、粘性土を混入する
2	17.05	2.70	2.70						
3	16.15	0.90	3.60		シルト混じり細砂	暗黄灰	緩い		粒子は不均一で、所々にシルト、小礫を少量混入 含水量は多い
4	14.95	1.20	4.80		礫混じり細砂	暗黄灰	緩い		粒子は不均一で、径2～10mm程度の小礫を多く混入し、一部砂礫状呈する 含水量は多い
5					砂礫	暗灰	非常に密な		礫は径2～35mmの円礫が主で、最大径100mm程度 マトリックスは、細砂、中砂が主体 含水量は多い 5m付近、径100mm程度の玉石を多く点在
6									
7									
8									
9	10.65	4.30	9.10						
	9.95	0.70	9.80		細砂	暗灰	密な		粒子は細かく均一だが、所々にシルト分も混入 含水量は中位
10					シルト質粘土	暗灰		中位	粘性は強い～中位 所々に腐植物を混入 11m付近、細砂を少量混入
11									
12									
13									
14									
15									
16									16m以深、砂質シルトを薄層状に挟在し、やや硬質
17									
18	1.10	8.85	18.65						色調は暗灰色を主体とするが、不規則に明暗がみられる
19					粗砂	暗灰	密な		粒子は粗く不均一で、所々にシルト、小礫を混入
20	-0.95	2.05	20.70						含水量は中位
21					礫混じり粗砂	暗灰	密～非常に密な		粒子は粗く不均一で、シルト、小礫を混入し、一部砂礫状 21m付近、シルトを多く混入
22	-2.70	1.75	22.45						含水量は中位

孔内水位(m)／測定月日：2.30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	2	3	6/30	6
1.45					
2.15	3	3	3	9/30	9
2.45					
3.15	2	2	2	6/30	6
3.45					
4.15	2	3	4	9/30	9
4.45	60/1			60/1	1800.0
5.00					
5.01					
6.15	24	36/6		60/18	00.0
6.33					
7.15	38	22/6		60/16	12.5
7.31					
8.15	37	23/9		60/19	94.7
8.34					
9.15	9	10	13	32/30	32
9.45					
10.15	1	2	2	5/30	5
10.45					
11.15	2	2	3	7/30	7
11.45					
12.15	2/12	1/8	3/12	6/32	5.6
12.47					
13.15	2	2	2	6/30	6
13.45					
14.15	2/12	1/8	2	5/30	5
14.45					
15.15	2	2	2	6/30	6
15.45					
16.15	2	2	3	7/30	7
16.45					
17.15	2	2	3	7/30	7
17.45					
18.15	2	3	3	8/30	8
18.45					
19.15	14	20	14	48/30	48
19.45					
20.15	12	17	21	50/30	50
20.45					
21.15	7	11	20	38/30	38
21.45					
22.15	13	20	21	54/30	54
22.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
5.50	現場透水試験
6.00	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
3.15	P1	⊖	細粒分含有率	
3.45				
4.15	P2	⊖	細粒分含有率	
4.45				
				7/18
14.00	T1	①	物理・力学	
14.80				
				7/21
17.00	T2	①	物理・力学	
17.80				
				7/22

ボーリング柱状図

調査名　平成21年度環施委第14号生ごみバイオガス化施設建設用地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B－2	調査位置	長岡市寿3丁目地内			北緯	
発注機関	長岡市			調査期間	平成 21年 7月 21日 ～ 21年 7月 24日	東経	
調査業者名	株式会社 新研基礎コンサルタント 電話（025-286-7188）	主任技師	鈴木正喜	現場代理人	山本 毅	コア鑑定者	
						ボーリング責任者	山本 健朗
孔口標高	H=19.904m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°
総掘進長	22.45m					使用機種	

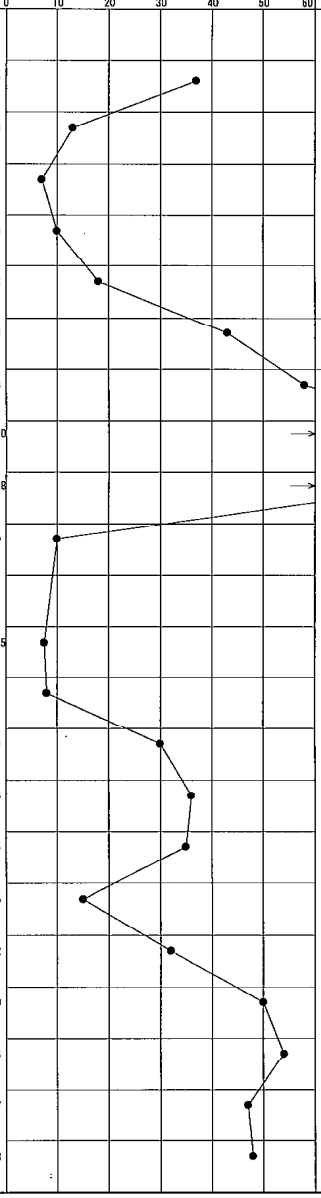
試錐機	D1-C48	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	V5-P

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					礫混じり土砂	茶褐～暗灰	密な～中位		礫混じり土砂を主体とする盛土 所々に径10～100mm程度の礫、玉石を点在し、不均質 1m付近、礫を多く点在
2	17.25	2.65	2.65						2m付近、粘性土を多く混入
3					シルト混じり細砂	茶褐	緩い		粒子は細かく均一だが、所々にシルト、小礫を混入
4	14.95	2.30	4.95						4m以深、礫の混入がやや多い 含水量は少ない
5					砂礫	茶褐～灰褐～暗青灰	中位～密な～非常に密な		礫は径2～35mmの円礫が主で、最大径80mm程度 マトリックスは細砂、中砂が主体 含水量は多い 5m付近、シルトを少量混入
6									
7									
8									
9	10.15	4.80	9.75						
10	9.60	0.55	10.30		礫混じり中砂	暗青灰	中位		粒子は粗く不均一で、シルト、粗砂も多く混入 所々に径2～30mmの円礫が混入
11					シルト質粘土	暗青灰		中位	粘性は強い～中位で、一部やや硬質 所々に腐植物を混入し、細砂を薄層状に挟在 深度11m付近、腐植物の混入が多い
12									
13	6.25	3.35	13.65						
14	5.20	1.05	14.70		中砂	暗青灰	密な		粒子はやや不均一で、細砂も多く混入 含水量は中位
15	4.30	0.90	15.60		礫混じり粗砂	暗青灰	密な		粒子は粗く不均一 所々に径2～5mmの小礫を多く混入
16					中砂	暗青灰	密な～中位		粒子はやや不均一で、細砂も多く混入 含水量は中位 深度17m付近、腐植物を多く混入
17	2.15	2.15	17.75						
18	1.20	0.95	18.70		礫混じり粗砂	暗青灰	密な		粒子は粗く不均一 所々に径2～5mmの小礫を混入 上部、腐植物を多く混入
19					礫混じり中砂	暗青灰	非常に密な～密な		粒子は粗く不均一
20									
21									径2～30mmの礫を多く混入し、一部砂礫状 所々に粘性土を薄層状に挟在
22	-2.55	3.75	22.45						

孔内水位(m)／測定月日：5.40

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.25	4	23	10	37/30	37
1.55					
2.15	7	4	2	13/30	13
2.45					
3.15	2	2	3	7/30	7
3.45					
4.15	3	3	4	10/30	10
4.45					
5.15	4	5	9	18/30	18
5.45					
6.15	13	15	15	43/30	43
6.45					
7.15	15	18	25	58/30	58
7.45					
8.15	32	28		60/20	90.0
8.35					
9.15	23	28	9/2	60/22	81.8
9.37					
10.15	5	3	2	10/30	10
10.45					
12.15	2	3/11	3/11	8/32	7.5
12.47					
13.15	2	2	4	8/30	8
13.45					
14.15	8	9	13	30/30	30
14.45					
15.15	10	11	15	36/30	36
15.45					
16.15	10	12	13	35/30	35
16.45					
17.15	6	5	4	15/30	15
17.45					
18.15	8	10	14	32/30	32
18.45					
19.15	14	16	20	50/30	50
19.45					
20.15	14	19	21	54/30	54
20.45					
21.15	15	12	20	47/30	47
21.45					
22.15	12	17	19	48/30	48
22.45					



原位置試験

深度(m)	試験名および結果
6.00	現場透水試験
7.00	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
3.15	P1	⊖	細粒分含有率	
3.45				
4.15	P2	⊖	細粒分含有率	
4.45				
5.15	P3	⊖	細粒分含有率	7/21
5.45				
10.00	P4	⊖	細粒分含有率	7/22
10.30				
11.20	T1	⑦	物理・力学	
11.90				
14.15	P5	⊖	細粒分含有率	
14.45				
17.15	P6	⊖	細粒分含有率	
17.45				
18.15	P7	⊖	細粒分含有率	
18.45				

7/23

7/24

ボーリング柱状図

調査名　平成21年度環施委第14号生ごみバイオガス化施設建設用地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B－3	調査位置	長岡市寿3丁目地内			北緯	
発注機関	長岡市			調査期間	平成 21年 7月 13日 ～ 21年 7月 17日	東経	
調査業者名	株式会社 新研基礎コンサルタント 電話（025-286-7188）	主任技師	鈴木正喜	現場代理人	山本 毅	コア鑑定者	ボーリング責任者 阿部龍信
孔口標高	H=19.606m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	20.45m	使用機種	試錐機	KR-150HC	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
			エンジン	ヤンマーNFD13	ポンプ	V5-P	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	17.96	1.65	1.65		礫混じり土砂	暗黄灰	緩い		礫混じり土砂を主体とした盛土 所々に径50～200mm程度の礫、玉石を点在し不均質 上部、草根を混入 1m付近、粘性土を混入
2	16.91	1.05	2.70		シルト質粘土	暗灰		非常にかたい	粘性は強い 所々に砂質シルトを薄層状に挟在 径2～5mm程度の小礫も少量混入
3					細砂	黄灰	緩い～中位		粒子は均一だが、所々にシルト、中砂も混入 深度3m付近、シルトの混入多い
4									含水量は多い
5	14.01	2.90	5.60						
6					砂礫	暗黄灰	非常に密な～密な～非常に密な		礫は径2～35mmの円礫が主で、最大径100mm程度
7									マトリックスは、中砂、粗砂が主体
8									含水量は多い
9									9m付近、径100mm程度の玉石を多く点在
10	9.11	4.90	10.50						10m付近、送水掘進中に逸水がみられた
11					礫混じり中砂	暗灰	非常に密な		粒子はやや粗く不均一で、粗砂、小礫も多く混入 含水量は多い
12	7.51	1.60	12.10						下部、礫の混入が多く砂礫状
	6.61	0.70	12.80		シルト質細砂	暗灰	密な	中位	粒子は細かく、均一 所々に腐植物を混入
13					中砂	暗灰	密な～非常に密な		粒子は不均一で、細砂、粗砂、小礫も多く混入
14									含水量は中位 14～15m間、粗砂、小礫の混入が多い
15									
16									
17									17m付近、シルトを薄層状に挟在
18									
19									19m以深、粗砂、小礫の混入が多く礫混じり中砂状呈する
20	-0.84	7.65	20.45						

孔内水位(m)／測定月日：2.35 ▽

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	2	2	5/30	5
1.45					
2.15	1/30			1/30	1
2.45					
3.15	1/15	1/5	3	5/30	5
3.45					
4.15	3	5	5	13/30	13
4.45					
5.15	4	5	6	15/30	15
5.45					
6.15	38	22/4		60/14	26.0
6.29					
7.15	10	11	12	33/30	33
7.45					
8.15	12	15	19	46/30	46
8.45					
9.15	14	16	22	52/30	52
9.45					
10.15	17	22	21/5	60/25	72.0
10.40					
11.15	18	19	14	51/30	51
11.45					
12.15	8	10	14	32/30	32
12.45					
13.15	10	15	18	43/30	43
13.45					
14.15	10/12	14/8	16	40/30	40
14.45					
15.15	12	18	19	49/30	49
15.45					
16.15	12	16	18	46/30	46
16.45					
17.15	10	12	18	40/30	40
17.45					
18.15	11	13	21	45/30	45
18.45					
19.15	12	16	25	53/30	53
19.45					
20.15	14	18	26	58/30	58
20.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.95	T1	①	物理・力学	7/13
2.65	P1	⊖	細粒分含有率	
3.15				
3.45	P2	⊖	細粒分含有率	
4.15				
4.45	P3	⊖	細粒分含有率	
5.15				
5.45				
12.15	P4	⊖	細粒分含有率	7/14
12.45				
				7/15

ボーリング柱状図

調査名　平成21年度環施委第14号生ごみバイオガス化施設建設用地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B－4	調査位置	長岡市寿3丁目地内			北緯	
発注機関	長岡市			調査期間	平成 21年 7月 28日 ～ 21年 8月 1日	東経	
調査業者名	株式会社 新研基礎コンサルタント 電話（025－286－7188）	主任技師	鈴木正喜	現場代理人	山本 毅	コア鑑定者	ボーリング責任者 阿部龍信
孔口標高	H= 19.573m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°
総掘進長	20.45m	使用機種	試錐機 KR－150HC	ハンマー落下用具	半自動落下装置	エンジン	ヤンマーNFD13
ポンプ	V5－P						

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	18.87	0.70	0.70		砂質粘土	黄褐			砂質粘土を主体とした盛土 所々に草根、瓦礫片を点在し、不均質
1	17.82	1.05	1.75		礫混じり土砂	暗黄灰			礫混じり土砂を主体とした盛土 所々に径50～200mm程度の礫、玉石、およびコンクリート片を点在し不均質 1m付近、コンクリート片に当たり、貫入不能
2	16.87	0.95	2.70		シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	粘性は強い 所々に砂質シルトを薄層状に挟在
3	16.07	0.80	3.50		砂質シルト	暗灰		軟らかい	粘性は弱い 所々にシルト質細砂を挟在し、互層状呈す
4	14.77	1.30	4.80		シルト質細砂	黄灰	緩い		粒子は細かく均一で、シルトを多く混入 含水量は少ない
5	13.62	1.15	5.95		中砂	暗黄灰	中位		粒子は不均一で、粗砂も多く混入 含水量は多い
6	12.57	1.05	7.00		砂礫	暗黄灰	密な		礫は径2～35mmの円礫が主で、最大径100mm程度 マトリックスは、中砂、粗砂が主体 含水量は多く、送水掘進中には湧水がみられた
7	11.77	0.80	7.80		礫混じり砂質シルト	暗灰	中位	硬い	粘性は弱く、所々に細砂、小礫を混入 全体に過圧密状で硬質
8	10.07	1.70	9.50		砂礫	暗灰	密な		礫は径2～35mmの円礫が主で、最大径80mm程度 マトリックスは、中砂、粗砂が主体 含水量は多い
10	5.97	4.10	13.60		礫混じり粗砂	暗灰	中位		粒子は粗く不均一で、中砂、小礫も多く混入 含水量は多い 12m付近、礫の混入が多く砂礫状呈す 12.50～12.70m間、シルトを挟在
14	3.62	2.35	15.95		細砂	暗灰	非常に密な～密な		粒子は均一だが、所々に中砂、小礫を少量混入 含水量は中位～少ない
16	0.07	3.55	19.50		砂礫	暗灰	密な		礫は径2～35mmの円礫が主で、最大径80mm程度 マトリックスは、中砂、粗砂が主体 含水量は多い
20	-0.88	0.95	20.45		細砂	暗灰	非常に密な		粒子は均一だが、所々に中砂を少量混入 含水量は中位

孔内水位(m)／測定月日：4.80 ▽

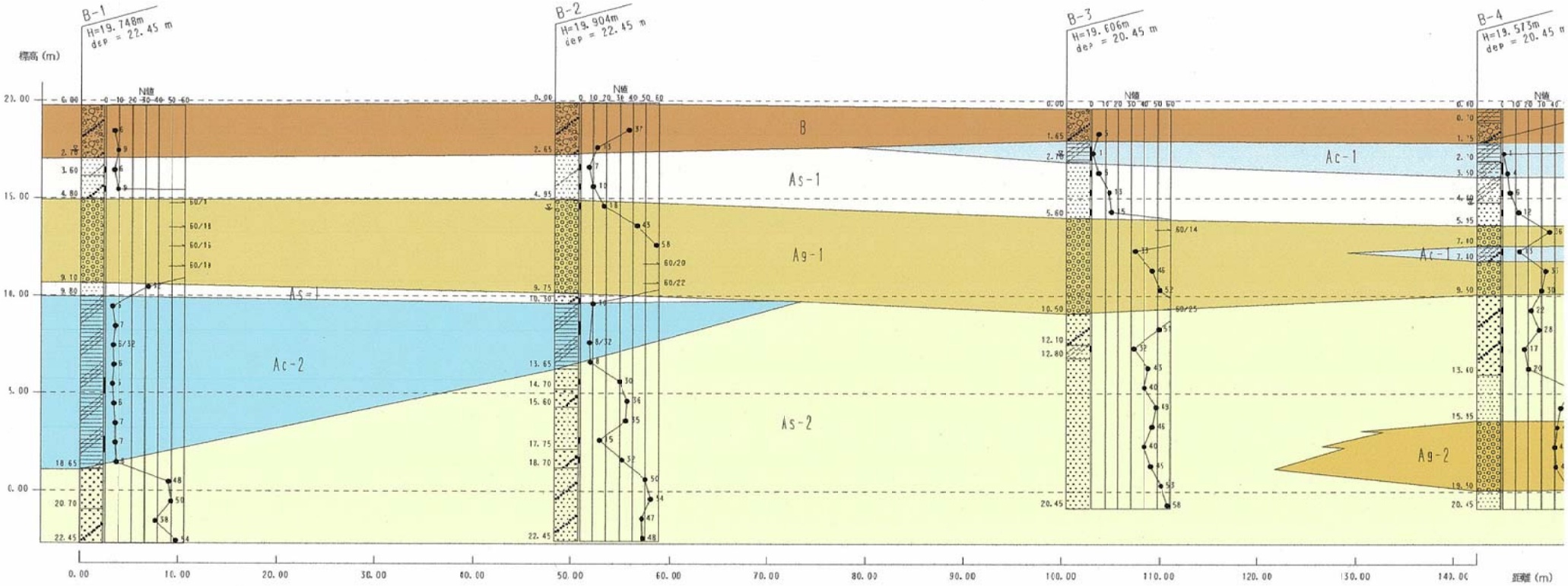
標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	60/2			60/2	900.0
1.17					
2.15	1/30			1/30	1
2.45					
3.15	1	2/12	1/8	4/30	4
3.45					
4.15	2	2	2	6/30	6
4.45					
5.15	3	4	5	12/30	12
5.45					
6.15	10	12	14	36/30	36
6.45					
7.15	3	4	6	13/30	13
7.45					
8.15	8	11	14	33/30	33
8.45					
9.15	8	10	12	30/30	30
9.45					
10.15	7	7	8	22/30	22
10.45					
11.15	8	10	10	28/30	28
11.45					
12.15	5	6	6	17/30	17
12.45					
13.15	6	7	7	20/30	20
13.45					
14.15	15/12	19/8	19	53/30	53
14.45					
15.15	12	14	19	45/30	45
15.45					
16.15	12	14	16	42/30	42
16.45					
17.15	10	14	16	40/30	40
17.45					
18.15	10	12	19	41/30	41
18.45					
19.15	12	15	23	50/30	50
19.45					
20.15	14	20	22	56/30	56
20.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
2.75	T1	①	物理・力学	7/28
3.30				
4.15	P1	⊖	細粒分含有率	
4.45				
5.15	P2	⊖	細粒分含有率	
5.45				
7.15	P3	⊖	細粒分含有率	7/29
7.45				
10.15	P4	⊖	細粒分含有率	
10.45				
11.15	P5	⊖	細粒分含有率	
11.45				
12.15	P6	⊖	細粒分含有率	
12.45				
13.15	P7	⊖	細粒分含有率	
13.45				
				7/30
				7/31



B：盛土

Ac-1：上部粘性土層

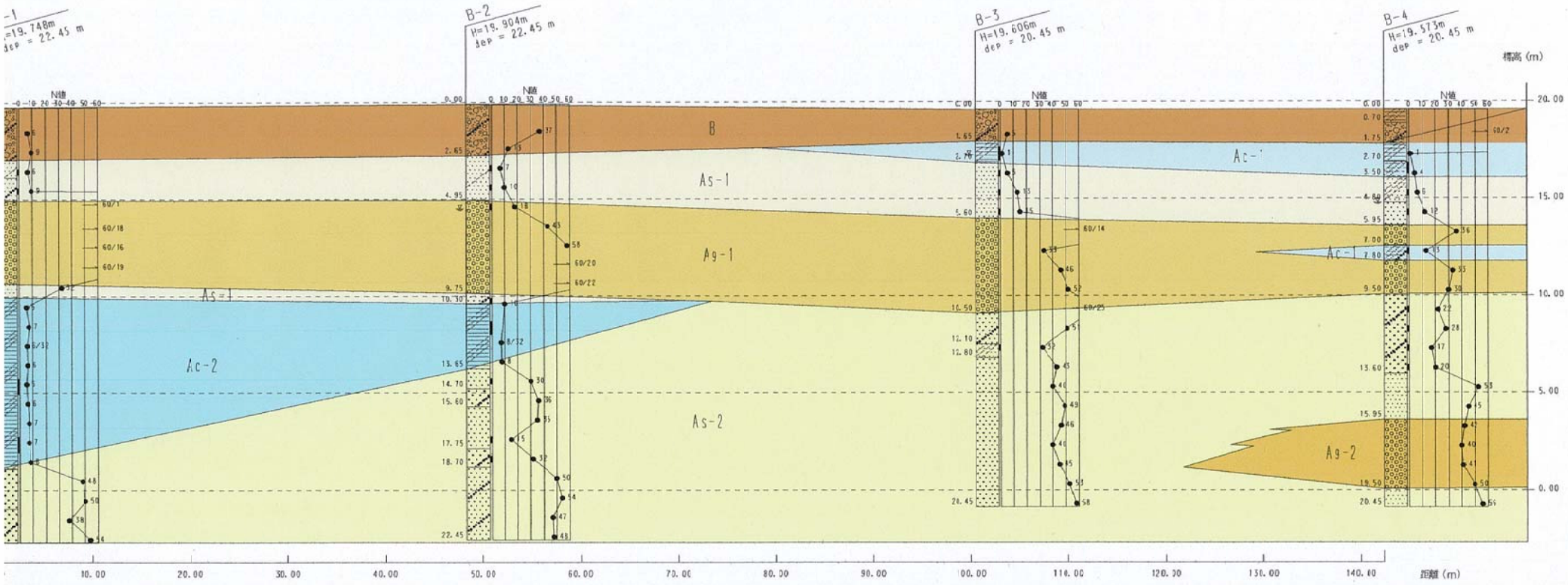
As-1：上部砂質土層

Ag-1：上部礫質土層

As-2：下部砂質土層

Ac-2：下部粘性土層

Ag-2：下部礫質土層



B：盛土

Ac-1：上部粘性土層

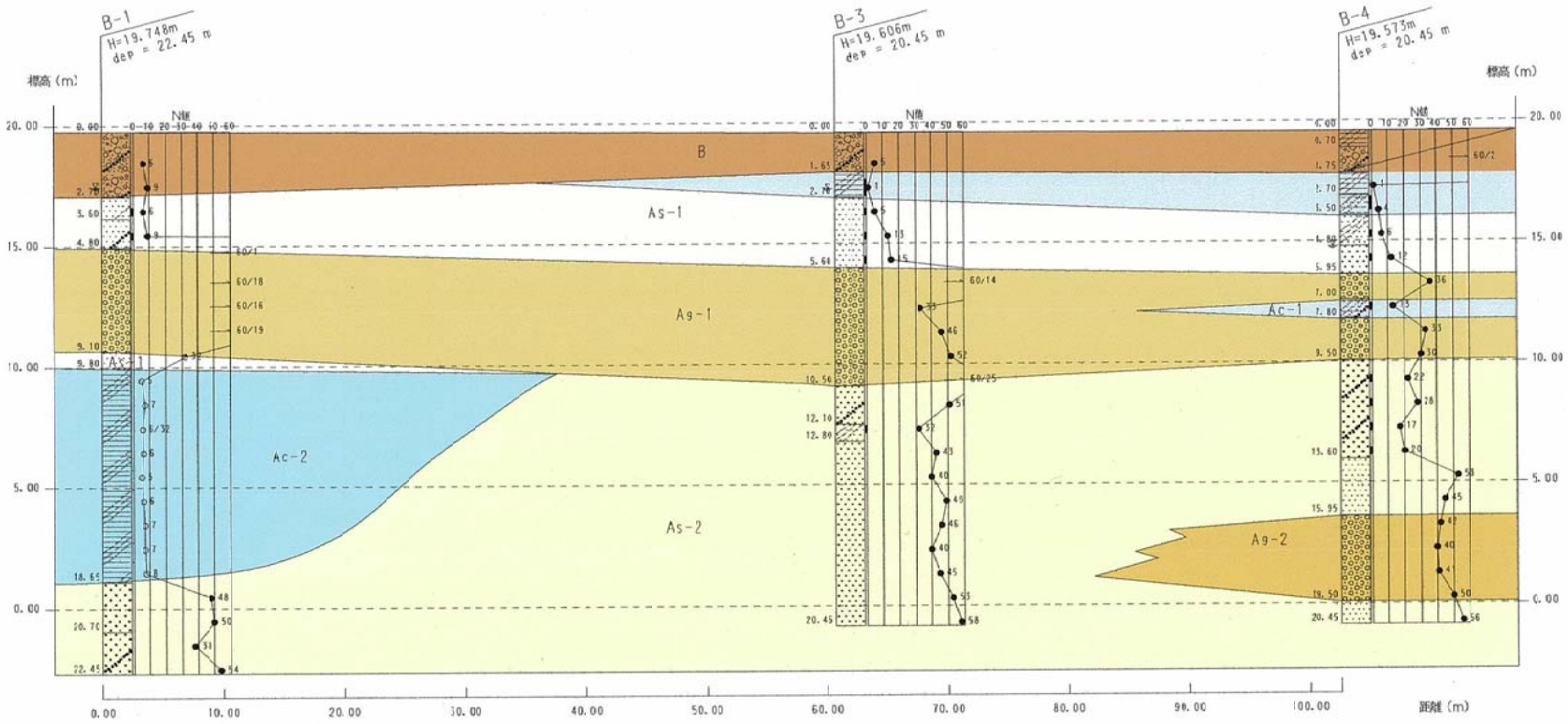
As-1：上部砂質土層

Ag-1：上部礫質土層

As-2：下部砂質土層

Ac-2：下部粘性土層

Ag-2：下部礫質土層



B：盛土

Ac－1：上部粘性土層

As－1：上部砂質土層

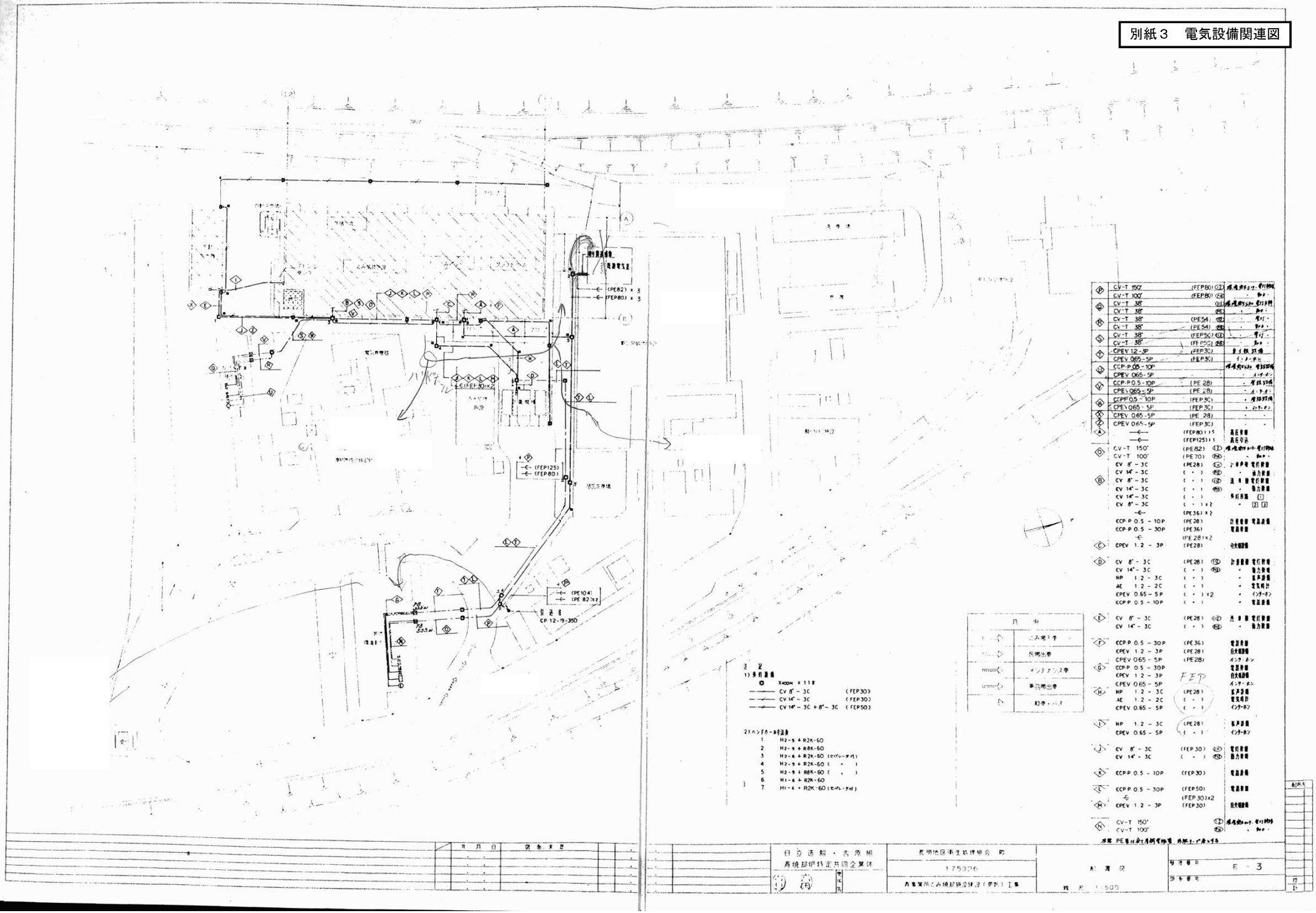
Ag－1：上部礫質土層

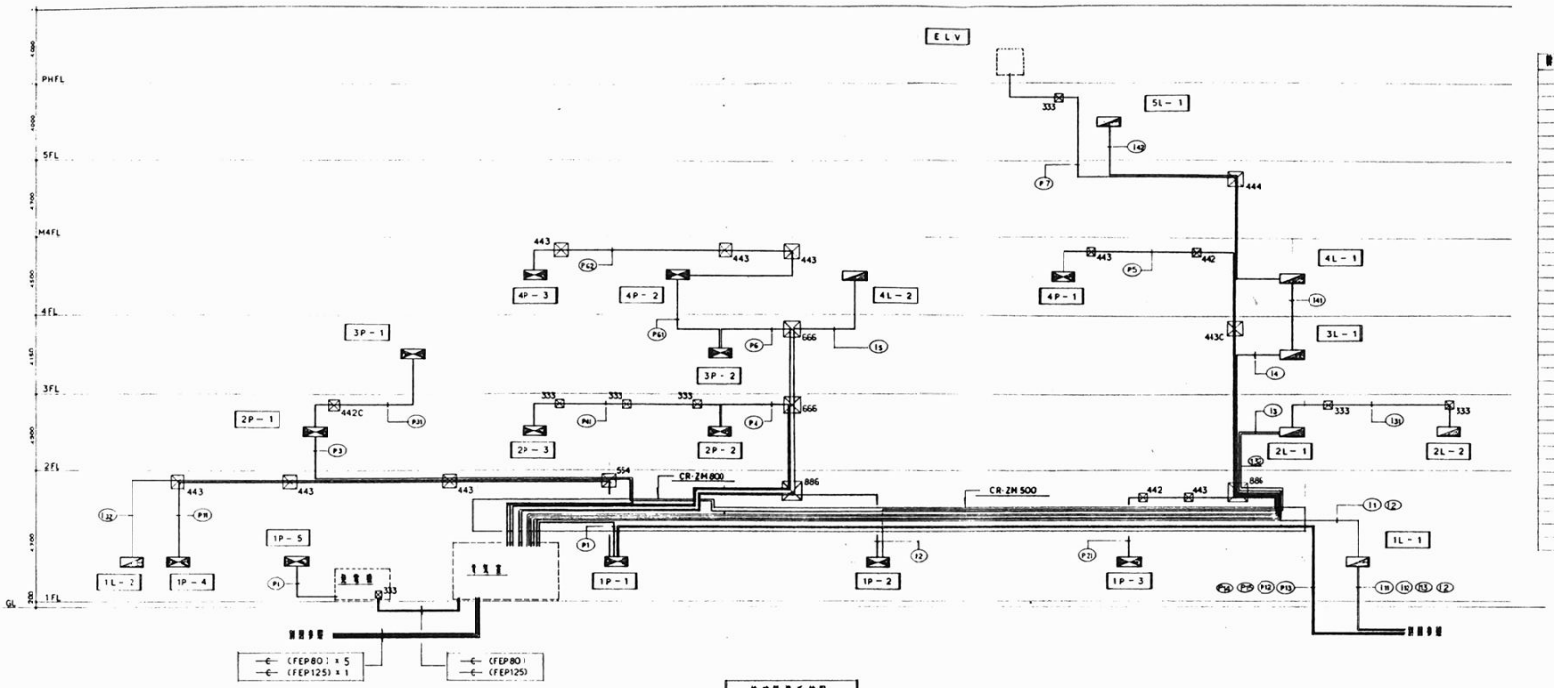
As－2：下部砂質土層

Ac－2：下部粘性土層

Ag－2：下部礫質土層

別紙３　電気設備関連図

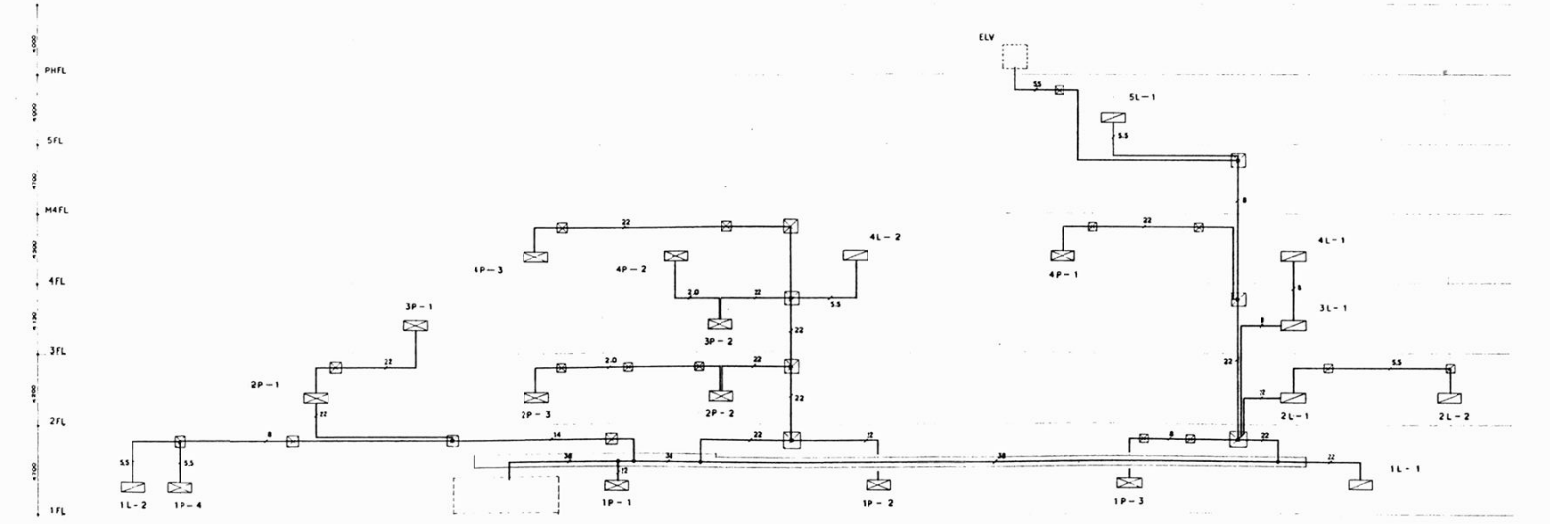

(PE82) x 3
(FEP80) x 3
(FEP30)x2
(FEP125)
(FEP80)
(PE104)
(PE 82)x2
CP 12-19-350
凡例
ごみ搬入車
灰搬出車
メンテナンス車
事務所出車
給水・パイプ
FEP
E-3



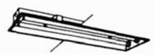
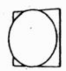
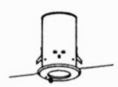
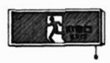
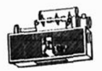
配管番号	系統・区間	配管サイズ	保温サイズ	仕様・材質	蒸気配管	水中配管
P1	電気室 ~ 1P-1	CV-T 150A	22	(E75)	用	
P2	〃 ~ 1P-2	〃 100A	22	(E63)	〃	
P3	〃 ~ 2P-1	〃 100A	22	(E63)	〃	
P4	〃 ~ 2P-2	〃 100A	22	(E63)	〃	
					〃	
P5	〃 ~ 4P-1	CV-T 100A	22	(E63)	〃	
P6	〃 ~ 3P-2	〃 150A	22	(E75)	〃	
P7	〃 ~ ELV	CV 14°-3C	5.5	(E31)	〃	
P8	電気室 ~ 1P-5	FP 2.0-3C	2.0	(E25)	〃	
P21	1P-2 ~ 1P-3	CV-T 38°	8	(E51)	〃	
P31	1P-1 ~ 1P-4	CV-T 22°	5.5	(E39)	〃	
P32	〃 ~ LP-1	CV 14°-3C		(E31)	〃	PE28)
P33	〃 ~ LP-2	〃 14°-3C		(E31)	〃	PE28)
P41	2P-1 ~ 3P-1	CV-T 100A	22	(E63)	〃	
P42	2P-2 ~ 2P-3	5.5°×3	2.0	(E25)	〃	
P54	1P-1 ~ [illegible]	CVT 100A		(E63)	〃	(PE70)
P55	〃 ~ 〃 [illegible]	CVT 38°		(E51)	〃	(PE54)
L1	電気室 ~ 1L-1	CV-T 100A	22	(E63)	〃	
L2	〃 [illegible]	CV-T 150A	22	(E75)	〃	PE82)
L3	〃 ~ 2L-1	CV-T 100A	22	(E63)	〃	
L4	〃 ~ 3L-1	〃 38°	8	(E51)	〃	
L5	〃 ~ 4L-2	〃 22°	5.5	(E39)	〃	
L11	1L-1 ~ LP-1	CV 8°-3C		(E25)	〃	PE28)
L12	〃 ~ LP-2	〃 8°-3C		(E25)	〃	PE28)
L13	2L-1 ~ 2L-2	〃 22°-2C	5.5	(E31)	〃	
L14	3L-1 ~ 4L-1	CVT 38°	8	(E51)	〃	
L142	4L-1 ~ 5L-1	〃 14°-3C	5.5	(E31)	〃	
L15	1L-1 ~ [illegible]	CV-T 38°		(E51)	〃	(PE54)
L152	2L-1 ~ 1L-2	CV 22°-2C	5.5	(E31)	〃	
P53	3P-2 ~ 4P-2	CV-T 100A	22	(E63)	〃	
P53	4P-2 ~ 4P-3	CV-T 100A	22	(E63)	〃	

注記

[illegible]



注記	年 月 日	図面来歴	日立造船・吉原組 南統即炉特定共同企業体	長岡地区衛生処理組合 殿 175026 南事業所ごみ焼却施設建設（更新）工事	特殊系統図	管理番号 E-4 図面番号

A41 FRS2-401 A42 FRS2-402 A41b K1-FRS2-401 A42b K1-FRS2-402	B42 FRL6-402 B43 FRL6-403 B42b K1-FRL6-402 B43b K1-FRL6-403	C362 FL 20W-4 C363 FL 20W-6	D41 FSS1-401 D41G FSS1-401 ガード付 D41Gb K1-FSS1-401 ガード付 D21MG FSS1MP-201 ガード付 D41MG FSS1MP-401 ガード付	E41 FBS3-401 E41G FBS3-401 ガード付 E41Gb K1-FBS3-401 ガード付 E41MG FBS3MP-401 ガード付	F41 FSR1-401 F42 FSR1-402 F42b K1-FSR1-402 F42MG FSR1MP-402 ガード付	G42 FPR1-402 G42b K1-FPR1-402	H42 FSS4-402
						 パイプ吊り	
I400 HF400W	J400 HF400W J1000 HF1000W J660N NH660W	K27 FRS11-D271 K18 FRS11-D181	L30M FCL30W-1 防湿型	M20M FCL20W-1 防湿型	N21 FBS2-201	O21M FBF2-201	P21 FBF6-201
 HSR1W 防爆型昇降器具	 HSR1M 防爆型昇降器具						
Q41 FST1-401	R21M FSR1MP-201 ガード付	S10b K1-IRS4-J10 S23b K1-IRS4-J23	T27b FL 40W-1 電池内蔵型	U1b SH1-FBF10-101 U1Gb SH1-FBF10-101 ガード付	V1b SH1-FBC10-101	W1b ST1-FBC10-101 W1Gb ST1-FBC10-101 ガード付	X400M HST5A-400M T5
							
Y41 FL40W-1 密閉型	Z13 FPL13W-1 防雨型	a41b FL40W-1 電池内蔵 防爆型	b1b FL10W-1 防爆型誘導灯				
							

特記事項

1. 一般照明器具は、JIS C 8105「照明器具通則」、JIS C 8106「施設用蛍光灯器具」、JIS C 8113「白熱電球用投光器」、JIS C 8115「家庭用蛍光灯器具」、JIL5002「ダウンライト」、公共施設用照明器具標準委員会監修の照明器具標準による。
   - ・直管蛍光ランプ40形用のラピッドスタート式安定器は低消費形とする。
   - ・HID灯用安定器は高力率形とする。
2. 防災用照明器具
   - ・非常用照明器具は建築基準法に基づくもので、JIL5501（非常用照明器具技術基準）に適合し、(財)日本建築センターの防災性能表示マークが添付されたものとする。
   - ・誘導灯器具は消防法に基づくもので、JIL5502（誘導灯器具技術基準）に適合し、誘導灯認定委員会の認定証票の添付されたものとする。
3. 照明器具は良質な材料で構成し、保守及び点検が容易なものとする。
4. 外壁、ピロティ等の屋外や、湿気の多い場所に設ける器具の枠等の材質は防錆を考慮し、[illegible]又はステンレス製とする。
5. 照明器具は原則としてメーカー標準品とする。
6. 特記なき器具の電圧は100Vとする。

ランプ記号

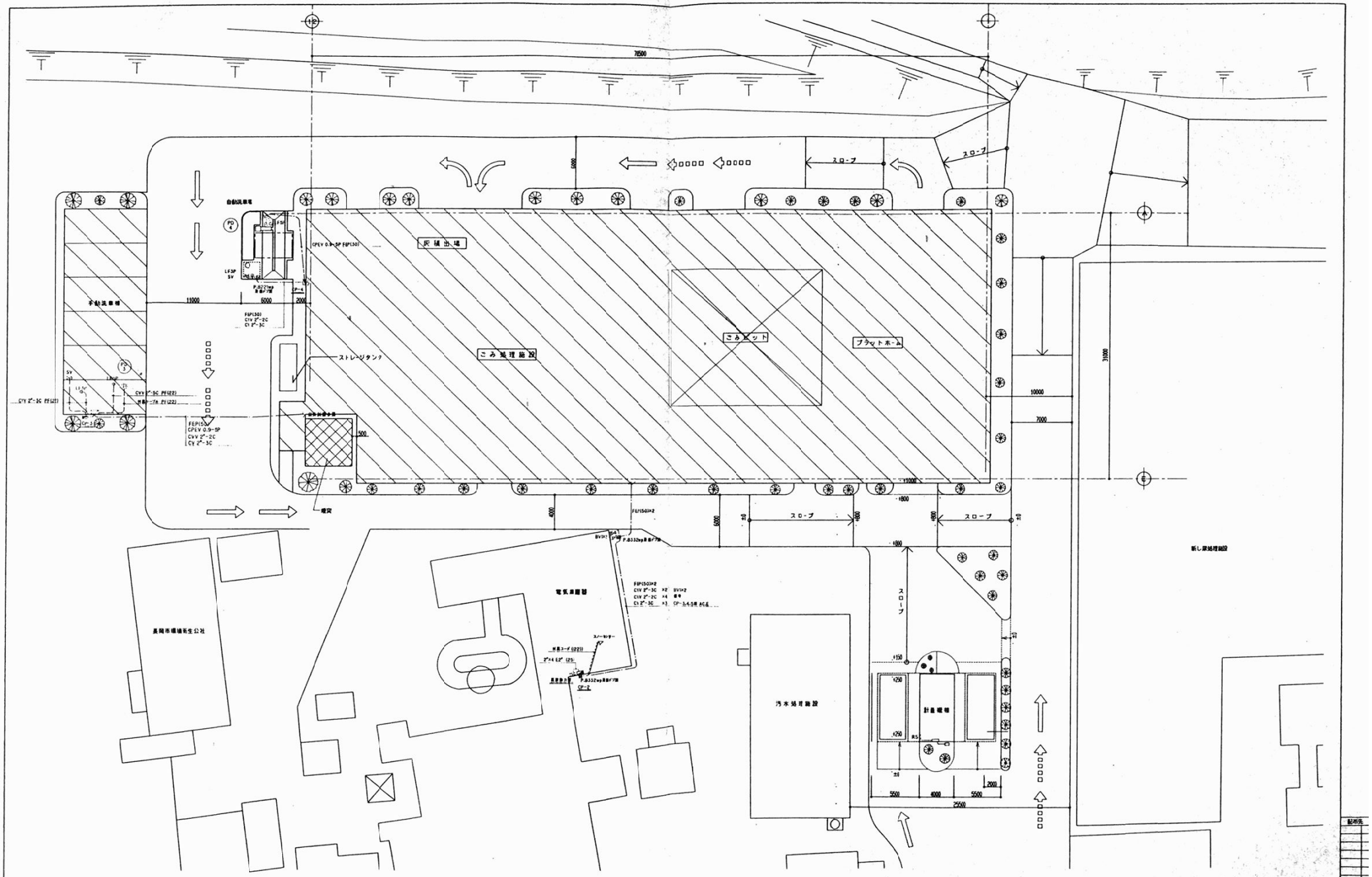
FL	蛍光ランプ（直管形）
FCL	蛍光ランプ（環形）
FLR	ラピッドスタート形蛍光ランプ（直管形）
FPL	蛍光ランプ（P形）
FDL	蛍光ランプ（D形）
IL	白熱ランプ
J	ハロゲンランプ
H	水銀ランプ
HF	水銀ランプ（拡散形）
NH	ナトリウムランプ
M	メタルハライドランプ（透明）
MF	メタルハライドランプ（拡散）

注記

年	月	日	記事

日立造船・吉原組 寿焼却炉特定共同企業体	長岡地区衛生処理組合 殿 175026 寿事業所ごみ焼却施設建設（更新）工事	照明器具姿図 縮尺 FREE	図面番号 E－9

記事先



年月日	設計変更

日立造船・吉原組
焼却炉特定共同企業体

長岡地区衛生処理組合 殿

175026

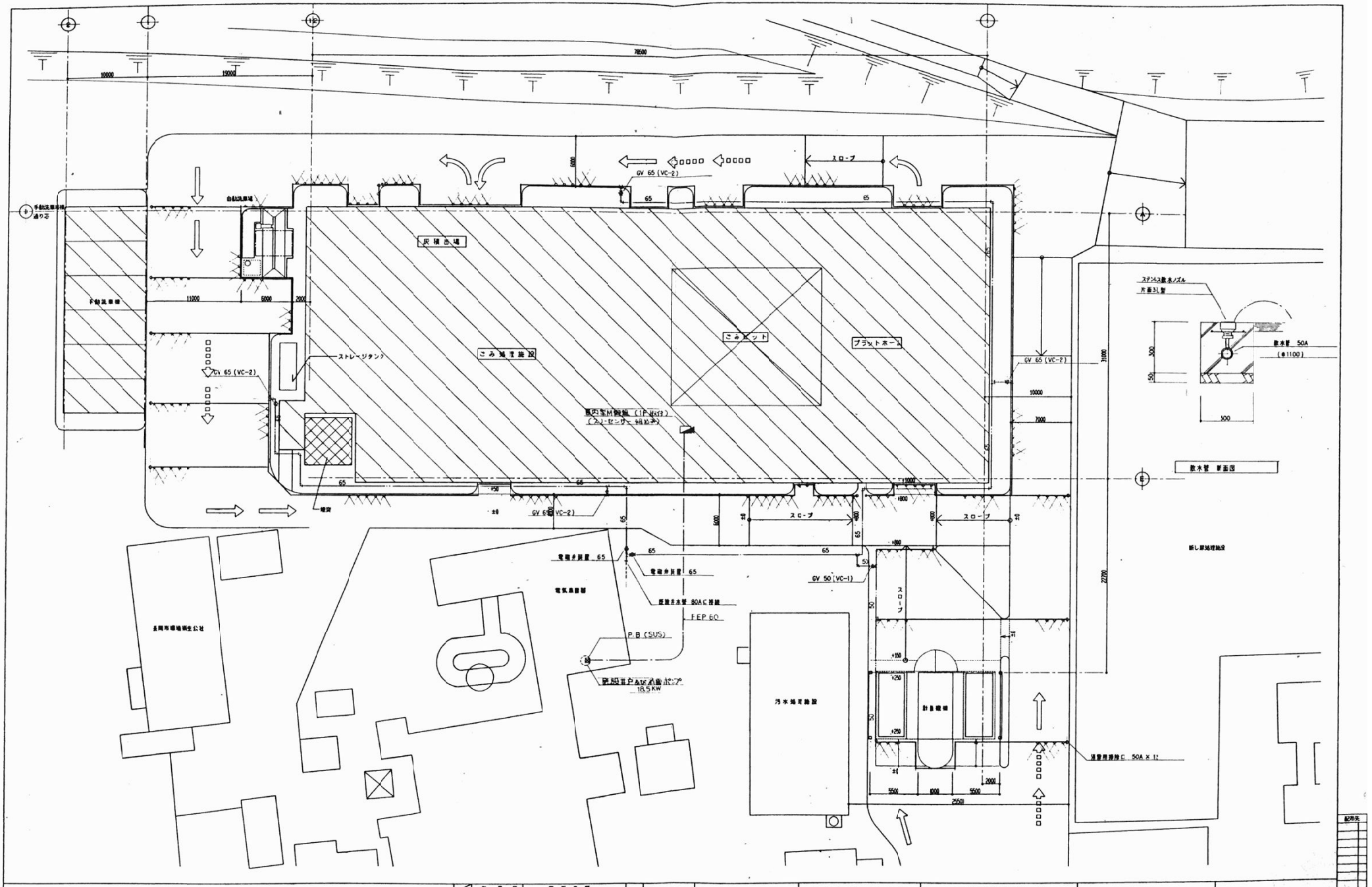
焼却施設ごみ焼却施設建設（更新）工事

配置図（制御）

縮尺 1:200

管理番号 M-19

図面番号



年 月 日	摘要	検図	日立造船・吉原組 焼却炉特定共同企業体	長岡地区衛生処理組合 殿	配置図（場内）	管理番号 M-46
				175026	縮尺 1:200	図面番号
				焼却施設ごみ焼却施設（更新）工事		